



新春



ひろせ けいすけ
広瀬 慶輔 です

No. 35

新年明けましておめでとうございます

旧年中は市民の皆様には格別の御高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

型コロナウイルス感染症の影響の長期化に加え、原油価格や物価の高騰などにより、市民生活に大きな影響を及ぼす状況となりました。

そのような中、本市では、少しでも市民負担の軽減を図りたいとの思いから、国の交付金（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）を活用し、水道料金（基



本料金）の免除、プレミアム付商品券のプレミアム率の引き上げ・発行冊数の増刷、給食費の無償化などに取り組んでまいりました。

一方、「ウィズコロナ」の新しい生活様式の下、創意工夫を凝らしながら様々なイベントが市内各地で開催されるなど、少しずつではありますが、まさに活気が戻りつつあるように感じました。このように、少しずつ明るい兆しが見える状況に至りましたのも、市民の皆様が、日頃から様々な感染症対策に取り組まれてきていることの賜物であり、深く感謝申し上げます。

さて、人口減少・少子高齢化、新型コロナウイルス感染症の感染拡大など、社会情勢が刻一刻と変化する中で、時代に取残されなないためには、時代の流れを的確に捉え、新しい試みに果敢にチャレンジしていく必要があります。

その一つとして、本市では今月の特集でも紹介した「いじめゼロ」の取り組みを進めており、先日開催された本市



もちつき大会でのひとコマ

初の「いじめ対策サミット」では、全国のいじめ問題の解決に一石を投じるべく、本市から全国に向けてメッセージを発信しました。この取り組みを継続し、毎年全ての子どもたちが明るい気持ちで新年を迎えられるまことにしたいと考えております。

今後、先進的で独創性が高く、社会の仕組みや課題の本質を捉えた「寝屋川水準」の政策の立案を進め、市民の皆様との命と暮らしを守るための施策・事業を行い、「選ばれるまち」の実現に向けて、邁進してまいります。

結びになりましたが、本年が市民の皆様にとって幸多き一年となりますよう、心から御祈念申し上げます。私の新年のあいさつとさせていただきます。

寝屋川市長 広瀬慶輔

